

デジタル化ファストチャレンジ に取り組みます！

令和2年11月17日
仙台市

デジタル化ファストチャレンジ

- 窓口手続きのデジタル化
- デジタルでつながる市役所
- デジタル化で市役所業務の改善

計画策定に先駆けて取り組みます！

『(仮称)仙台市DX推進計画』の策定

※[DX]:デジタルトランスフォーメーション

令和3年6月末策定を目指します！

2 コロナ禍を契機としたデジタル化の迅速な推進

社会情勢

- ・デジタルテクノロジーの著しい発展
- ・生産年齢人口の減少

新型コロナウイルスの感染拡大

- ・行政分野でのデジタル化の遅れの顕在化
- ・「新たな日常」の構築、DXの推進

国の動向

- ・「骨太の方針」
→行政デジタル化の取り組みを強化
(令和2年7月)
- ・「規制改革実施計画」
→デジタルガバメントを改革の重点分野に
(令和2年7月)
- ・「自治体DX推進計画」の策定
(令和2年中予定)
- ・「デジタル庁」の設置
(令和3年中予定)

本市の状況

現行の「仙台市ICT利活用方針」
市役所業務の効率化を中心とした内容

コロナ禍を契機として、人々の安全安心、利便性の向上、社会経済活動の持続性確保などの観点から発展的に見直し

ファストチャレンジ

- ①窓口手続きのデジタル化
- ②デジタルでつながる市役所
- ③デジタル化で市役所業務の改善

今できることをすぐ実行！

(仮称)仙台市DX推進計画の策定
(令和3年6月末目途)

『窓口手続きのデジタル化』を推進します！

押印の原則廃止、添付書類の見直し

押印は年度内
書類見直しは順次拡大

不要な押印の廃止や添付書類の簡素化等により、手続きのデジタル化を推進します。

キャッシュレス決済の導入

令和3年度から順次導入

窓口においてキャッシュレスでの支払いができるようにします。

証明書などの交付手続きをスマホで申請

令和3年度中に実証実験

証明書などの交付手続きを、窓口に行かなくてもスマートフォン等で申請、支払いができるようにします。

3 ファストチャレンジ ① -具体例-

押印の原則廃止、添付書類の見直し

不要な押印を廃止したり、添付書類を
書面ではなく画像でも取り扱えるように
するなど、これまで紙に書いていた手続きが
デジタルで可能になります。

キャッシュレス決済の導入

窓口における各種交付手数料や各種料金の
支払いを、これまでの現金のみではなく、
キャッシュレスでの支払いもできるように
します。

証明書などの交付手続きをスマホで申請

証明書などの交付手続きを、窓口に行か
なくても、自宅などからスマートフォン等で申
請、支払いまで完了できるようにします。

『デジタルでつながる市役所』を推進します！

工事などでの事業者との調整はWebでスピーディーに！

令和2年度中に
順次運用開始

道路工事における現場確認などで事業者と協議や打合せをする際は、会社や現場と市役所をWebでつなげ、スピーディーに対応できるようにします。

オンラインで子育て相談ができるようにします！

令和3年度中に
順次運用開始

自宅等から子育てに関する相談などができるようにします。

窓口以外での市民対応にモバイル端末を活用します！

令和3年度中に
順次運用開始

妊産婦や乳幼児への訪問などでの相談に、職員がモバイル端末を活用して助言や説明を行えるようにします。

3 ファストチャレンジ ② -具体例-

工事などでの事業者との調整は
Webでスピーディーに！

道路工事など本市が発注した工事における現場確認などで事業者と協議や打合せをする際は、会社や現場と市役所をWebでつなげ、モバイル端末で状況を確認しながらスピーディーに対応できるようにします。



オンラインで子育て相談が
できるようにします！

子育てや保育所入所に関する相談などに、順次拡大していきます。



窓口以外での市民対応に
モバイル端末を活用します！

妊産婦や乳幼児への訪問などでの様々な相談に、職員がモバイル端末を活用して助言や説明を行えるようにします。



『デジタル化で市役所業務の改善』を推進します！

「Web参加」で会議などの効率化と活性化を図ります！

令和2年度から
順次運用開始

Web会議システムなどを活用し、会議や研修の参加にかかる移動時間や費用を節約するとともに、庁内におけるコミュニケーションの活性化や業務ノウハウなどの共有・伝達を効果的に行うよう取組みます。

市役所業務での ICT活用をさらに推進します！

令和2年度中に実証実験

RPA・AIの活用や新たなツールの導入により業務の効率化を推進するとともに、災害や感染症のまん延などの際でも重要な市民サービスの継続ができるよう執務環境の整備(サテライトオフィス等)に取り組みます。

3 ファストチャレンジ ③ -具体例-

「Web参加」で会議などの
効率化と活性化を図ります！

会議や研修の参加にかかる移動時間や費用の節減のほか、庁内におけるコミュニケーションの活性化や業務ノウハウなどの共有・伝達を効果的に行うよう取組みます。



新たなデジタル化で
市役所業務の改善を推進します！

新たなデジタルツールによる業務効率化や、災害等の非常時にも市民サービスが継続できる執務環境の整備に取り組みます。



『(仮称)仙台市DX推進計画』を策定します！

➔ 更なるデジタル化によるまちづくりに向け、総合的に取り組むための推進体制を構築の上、「(仮称)仙台市DX推進計画」を策定します。

(1)令和3年6月末を目途に「(仮称)仙台市DX推進計画」を策定

有識者懇話会の開催	デジタル技術、先進事例などに関する専門家・学識経験者からの意見・助言を踏まえて策定します。
利用者等の意見収集	パブリックコメントの実施による意見収集や、市議会での議論を踏まえて策定します。

(2)「(仮称)仙台市DX推進計画」の策定と実行に向けた推進体制の構築

推進体制・進行管理	市長をトップとする(仮称)デジタル行政推進本部会議を設置し、全庁一丸でスピード感を持って計画の策定と推進を図ります。
職員の主体的取組み	職員全員が、市民サービスの向上に資するよう、デジタルファーストを原則として、効果的なデジタル化に主体的に取り組めます。

DX推進計画の策定及び実行により速やかにデジタル化を進め、目指すべき「仙台らしさが輝く新たな『杜の都』」をより高みに引き上げることを目指す

➔ ひと・まち・市役所のそれぞれがデジタル技術を活用し、スマートな「仙台」を実現

➔ ポストコロナの「新たな日常」にも的確・柔軟に対応

- 誰もが生き生きと活躍できる
 - 創造性に満ち活力あふれる
- ひと(市民) になる
- まち(地域・経済) になる
- 暮らしや地域の発展を支える
- 市役所 になる

4つの領域でデジタル化を推進 (掲げたテーマは例示)

